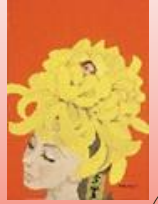


2020 9月

宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100



常設展示室

市民ギャラリーのご案内

入場無料

宮永岳彦が描く四季の花

思い出の花園

2020年2月28日(金) ▶ 11月23日(月・祝)

10月の市民ギャラリー展覧会の予定

水彩スケッチ四季
10月28日(水)～11月1日(日)

展示作品より今月の一点
《タウン誌『日本橋』昭和55年9月号表紙画》



『日本橋』は昭和54年から現在に至るまで日本橋周辺で配布されているタウン誌で、宮永は昭和55年4月号から3年間表紙画を描きました。それらの絵には東京の中心地である日本橋を意識したファッションブルな女性を季節の花とともに描いた作品が多くあります。

この表紙画の女性も襟足を見せ、ふんわりとした髪型に秋の花であるコスモスが飾られています。きりっとした細い眉と淡いメイク、顔に添えられた白い手袋、唇にはわずかな笑みを浮かべているように見え、上品で華やかな美しさが表現されています。

当展示では他にも7点のタウン誌『日本橋』の表紙画がご覧になれます。

表紙原画 制作年不明

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

※ 9月1日(火)から2021年3月分までの予約を受け付けています。

開催中の『思い出の花園』にちなんで、花についてのエッセイを連載します。今月は秋のお花見の定番のコスモスです。



今月の花 「コスモス」

コスモスといえば、野原一面のピンクや赤の花が秋風に揺れる景色が思い浮かびます。和名の「秋桜」にふさわしく、可憐な花が群生して咲く様子は日本人に愛されています。

メキシコ原産の花で、コロンブスのアメリカ大陸発見以後にヨーロッパに渡り、世界中に広がりました。日本に伝わったのは明治時代といわれています。

「Cosmos」という学名はスペインでつけられ、ラテン語で“秩序だつて整った美しいもの”、“完結された世界観”を表現する言葉ですが、その語源はギリシャ語で宇宙を意味する「kosmos」から来ています。一輪の花の規則正しく並んだ花弁や花芯の様子から自然界の小さな宇宙を連想したのでしょうか。

細い茎や葉から、か弱い植物と思われがちですが、その性質は強く、種からも容易に育てられます。日当たりがよい場所であれば、土質を選ばずに花を咲かせます。昼間の時間が短くなると開花する短日植物ですが、近年の園芸品種は、それほど日の長さに影響されずに開花する早生品種が主流になり、春に種をまいて夏から花を楽しめるようになりました。

日本各地の公園や河原などに咲くコスモスで秋の風景を楽しんでみてはいかがでしょうか。



開催しました

美術館 ワクワク探検 vol.26

粘土でドーナツを作ろう!

8月22日(土)に、夏休み恒例のワクワク探検を開催しました。連日の暑さの中でも元気な子どもたち10名が粘土でドーナツ作りに挑戦しました。

また、子どもたちは常設展示室で、宮永芸術についてのクイズを通して、展示作品を熱心に鑑賞していました。

閉館時間変更のお知らせ

8月18日(火)～9月18日(金)は17:00閉館(入館は16:30まで)となります。上記期間、弘法の里湯は工事のため休館です。

美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用 40台 1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

9月の休館日 : 7日(月) 14日(月) 23日(水) 28日(月)